溝口紀子銀メダリストが卓話

富士宮ＬＣ通常例会

富士宮ロータリークラブ（齋藤文彦会長）は、ゲストハウス・フォレストヒルズで行われた令和2年度3月通常例会で、バルセロナ五輪女子柔道52キロ級銀メダリストで、静岡県教育委員長や静岡文化芸術大学教授を務めた溝口紀子さんを講師に迎え卓話を行った。

溝口紀子さんが卓話を行い

出席の会員が熱心に卓話を聴き

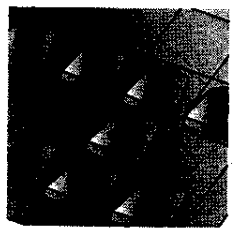
午後0時30分、点鐘で開始された例会では通常の例会後に、伊藤稔国際奉仕委員長が講師の紹介を行い、紹介を受けた溝口紀子さんが、富士宮ロータリークラブ「する・みる・支える　まちづくり」をテーマに卓話を行った。

溝口さんは、高等学校時代から女子柔道で克己奮励し、オリンピック代表の座を射止め、出場したバルセロナオリンピックで銀メダリストとなり、選手引退後はアテネオリンピック女子柔道フランス代表チームのコーチ等を務め、国際的に選手育成に携わったが、その後は大学に戻り、スポーツ文化論を専攻し東京大学で学位（博士）を取得、静岡文化芸術大学で講師、助教授を経て教授を務め、静岡県教育委員会委員長等を歴任し、現在は日本女子体育大学大学院教授・全日本柔道連盟評議員・日本武道学会評議員等を務めている経験と専門のスポーツ文化論の観点から、富士宮ロータリークラブが目指している「富士宮市のまちづくり」についての、助言とするべく自らの学びの中から導きだした提言を交えて、「する・みる・支える　まちづくり」をテーマ卓話を行ったが、出席した会員は熱心に聴講し、その見識と時宜を得た提言に相づちを打ちながら、メモを取る会員もいた。

富士宮ロータリークラブ例会は卓話終了後、来信報告・週報受信・連絡事項を行い閉会した。

富士宮高校会議所プレゼンツ「将棋楽」

毎週土曜日開催中!!



富士宮高校会議所（山田美月会頭）主催で原則毎週土曜日、富士宮高校会議所プレゼンツ「将棋楽」を西町レトロ館で開催している。

これは、富士宮高校会議所の発案で、西町賑わい創出イベントの一環として、子供たちを中心に将棋を楽しもうと開催されているもの。

新型コロナウイルス感染症の対策の3密を守りながら、参加の子供たちは土曜日のひと時を楽しく過ごしている。

将棋のほか、10分切れ負けチェスクロック、詰将棋（3手～5手詰め）、また「折り紙教室」も始めている。

これらは、毎週土曜日（原則）の10時50分～11時50分までの1時間、西町レトロ館で開催中。この件に関する問い合わせ等は、富士宮高校会議所☎090・5008・5439（時田さん）まで。

会員が市長に受賞を報告

上野演劇サークル「チョンマの会」

出席者全員で写真撮影

公益財団法人静岡県文化財団は、県民文化の振興を通し、県民生活の向上と活力ある郷土創りに資するために、県内各地で優れた文化活動を行っている団体を表彰している。

令和2年度の「第34回ふじのくに地域文化活動賞」は、県内20団体が選考対象となり、地域文化活動賞1件、地域文化活動奨励賞4件、地域文化活動努力賞1件が選考され、3月6日に静岡市内のグランシップで表彰式が執り行われた。

令和2年度の地域文化活動奨励賞受賞団体の中には、上野小中学校のＰＴＡ関係者や教員らで平成6年に発足し、現在は地域住民・子供達も加わり、上野地区を中心に活動を続けている上野演劇サークル「チョンマの会」が、永年にわたり地域の幅広い住民の参画で、時には公演で地域の歴史等も題材として、舞台を通じ地域の絆を強めていることが評価され、受賞団体として名を連ねていた。

受賞を受け、チョンマの会は富士宮市役所において、須藤市長に表彰状の披露と受賞報告を行った。

受賞報告は、最初に出席者の紹介が行われ、紹介後に吉野代表が「私達がチョンマの会を立ち上げ演劇活動を始めたのは平成6年でした。

当時、上野中学校の生徒達が、『我が母校を日本一の学校にするのだ』を合言葉に頑張っている姿を見て、父兄として、地域に住む大人として黙って観ている訳にはいかないとの気持ちで、地域の皆さんに呼び掛け、劇団を結成しました。

第1回は、平成6年に当時の先生方にも出演してもらい『ベロ出しチョンマ』を上演しましたが、大変好評であったことから、翌年からは生徒にも参加して貰って上演し、いつの間にか27年目を迎えました。

今回の受賞は、今まで頑張ってきた劇団員ばかりでなく、地域の人達や学校関係者、何よりも生徒と卒業生全員に与えられた賞であると思っています」と話し「今後も引き続き地域演劇集団として頑張っていきます」と決意を語り、表彰状と盾を市長に披露した。

受賞報告を受けた須藤市長は「今回の受賞の報を聞いた時に、皆さんの努力が認められたことに喜びを感じるとともに、当然の結果であり、むしろ遅すぎたと思いました。

今回の受賞は、正に皆さんの熱意と努力の結晶であり、上野地区住民の地域の将来を担う子供達への想いが形になって表れたものであると思います。

チョンマの会の公演はほとんど見させていただきましたが、とても素人劇団とは思えない程の出来で、その一つ一つに子供の成長を願う気持ちが込められており、素晴らしいものばかりでした。

また、27年の長きにわたり、変わることなく地域への奉仕を続けられた皆様のご努力に対しましても、改めて敬意と感謝を申し上げ、今後も引き続き、子供達の情操教育のためにご尽力いただけるようお願い致します」と祝辞を述べた。

その後の懇談の中で、出席した会員から「家族が協力してくれるので続けられていますが、何よりも地域の皆さんの応援が大きな力となっています」等の声も聞かれた。

市長訪問は、懇談後の行った全員での写真撮影で終了した。

「もりのおうち×ツリーイング ちびっこ木登り教室」＆「南陵の森ツリーイング教室」

今月3日（土）9時から受付開始

富士山環境交流プラザでは4月29日（木・祝）、5月1日(土)・2日（日）の3日間、「もりのおうち×ツリーイングちびっこ木登り教室」と「南陵の森ツリーイング教室」をそれぞれ開催する。

【2教室共通事項】

▽開催日＝令和3年4月29日（木・祝）、5月1日（土）・2日（日）

※雨天中止

▽集合場所＝富士山環境交流プラザ／市内粟倉1618―9

▽会場＝全員集合後、車にて現地へ若干の悪路を走り移動

▽持ち物等＝動きやすい服装、靴（汚れてもよいもの）、手に合った軍手（滑り止め付きが望ましい）、少量のおやつ、水筒、タオル、バンダナ、マスク

※あると便利＝折りたたみ椅子やレジャーシートなど

▽受付開始＝令和3年4月3日（土）9時～

▽申込方法＝事前予約制

▽申込先＝富士山環境交流プラザ／☎0544・59・0050（火曜休館）

▽主催＝ツリーマスタークライミングアカデミー東海ブロック

▽後援＝富士宮市

【もりのおうち×ツリーイングちびっこ木登り教室】

同教室は、幼児向け自然遊びイベントの〝もりのおうち〟とロープを使った安全で楽しい木登り・ツリーイングのコラボしたもの。

▽教室＝もりのおうち×ツリーイングちびっこ木登り教室

▽時間＝10時～12時

※雨天中止

▽対象＝4歳～6歳児と保護者

※対象外の兄弟も応相談

▽定員＝各日3組（要事前予約・先着順）

▽参加費＝1組（大人1人と子供1人）1500円（ヘルメット等の道具レンタル、保険料含）／当日現金徴収（1人追加につき800円）

【南陵の森ツリーイング教室】

同教室は、通常では行けない木の上まで、ロープを使って安全に楽しく木登りをして、森の小鳥たちの目線・俯瞰が体験できるもの。

「森の入り口まで案内するので、あとは皆さん、ツリーイングという鍵を使って森への扉を開けてみよう」と参加を呼び掛けている。

▽教室＝南陵の森ツリーイング教室

▽時間＝13時30分～16時30分

▽対象＝小学生以上

▽定員＝各日6名（要事前予約・先着順）

▽参加費＝1人1500円（ヘルメット等の道具レンタル、保険料含）／当日現金徴収